

株式会社ジェイコム埼玉・東日本
(越谷・春日部局、草加局、埼玉県央局)
2022年度 放送番組審議会 議事録

【概要】2022年度は、コロナ禍の影響もあり「アンケート形式」で実施

【資料配布期間】 2023年3月13日(月)～

【回答方法】メール返信、「質問書」返信 他

【配布資料】

- ・コミュニティチャンネル自主制作番組資料
- ・放送番組審議会 質問書
- ・審議対象番組視聴DVD 1枚

(①「LIVE ニュース」/ 越谷・春日部局:2022年2月8日(水)放送回、草加局:2022年10月25日(火)放送回、
埼玉県央局:2022年11月7日(月)放送回 ② コミュニティチャンネルの取り組み)

<放送番組審議会委員>

(五十音順)

尾 堤 宏 さま	片 平 貢 丈さま	川 西 潤 一 さま
小 松 政 毅 さま	西 谷 友 孝 さま	三 輪 祐 子 さま
宮 城 美 由 紀 さま		

2022年度の放送番組審議会は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、番組審議会委員と事業者との対面での審議は実施せず、事業者側より放送番組審議会委員に対して書面をもって現況報告及びJ:COMチャンネルの取り組み、放送実績について報告を行い、審議会委員より書面にてJ:COMチャンネルに対して、意見、要望があった。

意見書の集約および回答については、「ジェイコム埼玉・東日本 越谷・春日部局/草加局/埼玉県央局」および、番組制作を担当する、JCOM株式会社「J:COMプロダクション本部」により、意見の拝受および内容の検討・審議の上、ご回答させていただいております。

<回答者>

株式会社ジェイコム埼玉・東日本 越谷・春日部局/草加局/埼玉県央局

越谷・春日部局 局長	美濃 昌輝
草加局 局長	畠 直樹
埼玉県央局 局長	高田 康二
地域プロデューサー	関 英雄
	境 慶太
	松井 菜摘

JCOM株式会社 J:COMプロダクション本部 映像制作第一部
埼玉・東日本制作グループ リージョナルマネージャー 大橋洋一
埼玉・東日本制作グループ さいたま拠点長 北條英行

【審議】

◆質問1：各局のレギュラー番組「LIVE ニュース」のご意見・ご感想・課題・改善案など

【越谷・春日部局について】

<良かった点>

- ・「まちなか」をスタジオにというコンセプトで県内各地から生放送するという企画は、視聴者がJ:COMをより身近に感じられてとても良い企画だと思う。
- ・番組の進行が以前よりまとまっており、テンポもよく見やすいと感じた。
- ・生放送ならではの「今の地域情報」「今の天気」を伝えている点がとても良い。
- ・キャスターの話し方にとても好感が持て心地よい。
- ・毎回様々な取組みをされている方を取り上げたり、今回の放送回では春日部経済新聞の人気ランキングという事もあり、地域情報満載でとても良かった。インターネットと距離のある視聴者の事も思うと、ぜひ定期的にやって欲しい。
- ・“LIVE”だけに、臨場感がありスタジオとは違う開放的な良さがある。
- ・放送内容のテーマや特集など、冒頭で項目ごとに紹介されており、視聴しやすい流れになっている。
- ・紹介された環境保全イベントは世間でも関心の高いSDGsの取組みであり、初めて知る内容だったので、興味を持って視聴することができた。
- ・コロナの話題に関して、埼玉県内に絞った病床使用割合などは、地元の方には関心の高い内容になっていると感じる。
- ・春日部経済新聞の上半期ランキングは、地域の飲食店を中心に話題の食べ物が紹介されており、身近な場所にあるため、行ってみたいと思える放映だった。アナウンサーと編集長のやり取りもとても聞きやすく好印象。
- ・アナウンサーの方も明るく、身近な興味のある地域情報が発信されており、関心をもって視聴させてもらった。

<改善点>

- ・キーステーション付近を通る方々が、「生放送中」であることを認識していないように感じる。
「J:COMの番組で生放送を行っている事」「ど・ろーかるで視聴可能」など、チラシ等を配布しPRすると、番組に関心を持つ方も増えるのではないか。また、生放送中にテレビに映り込みたくない方への対策にもなると思う。
- ・「ど・ろーかる」アプリからもLIVEニュースが観られるという点が、もう少し広まって欲しい。
- ・その場所で放映する“理由”が解らない（※越谷駅前で春日部ネタをする等）。
⇒（改善案）放映場所（駅の数）を可能な限り増やし、その地域の情報や住人・店舗を歩いて廻ったりして紹介する（収録もあり）。
- ・ニュースという割に、題材や情報が古く新鮮ではない。

- ・進め方がのんびりし過ぎていて、リズムが悪く途中で飽きてしまう（※内容的に5分で済んでしまおう）ため、もう少しテンポアップして欲しい。
- ・コロナの話題に関して、どの番組もコロナを取り上げている中マンネリ化していると感じた。
- ・フェスティバルの紹介に関して、イベントとして複数の項目があったが、文字だけのためイメージが湧きづらく過去の画像や動画などあればより参加してみようと思うのではないかと感じた。

<その他 感想>

- ・生放送は天候や不足な事態が起こり得るリスクなど、苦労や準備が大変だと思うが、1年以上この体制で続けられていることは素晴らしい。
- ・アナウンサーの方が産休直前の放映だったこともあり、周りの支え等がありながらなどのコメントから番組制作に関わる方の暖かさみたいな雰囲気伝わってきた。

【制作担当から】

- ・番組のテンポの良さについては特に意識して制作しています。場合によってはまだまだ冗長に感じる場面もあるが、さらに精進して行く。
- ・インターネット媒体の「春日部経済新聞」については、他媒体の「地域メディア」とコラボレーションする事で、様々な層の視聴者ニーズをフォローできるようにして行きたいと考えている。今後も定期的に連携し、地域情報を発信したいと思う。
- ・新型コロナのデータについては、日々変わる数値や傾向なので毎日報道してその変化を追っていただけようにした。今後は感染症としての扱いも変わる事もあり、状況に合わせて出し方を変えて行く。
- ・生放送中のキーステーション（現場）でのPRは確かに弱いと感じている。生放送をしているという事はインパクトがある事なので、しっかりと「目立てる」ように工夫して行く。
- ・キーステーションは「定着」を試みていつも同じ場所にしているが、それでも週に一度の出番であるので、本当に「定着」するかは疑問を持っている。ご意見をいただいたように、場所を変えてみる事も検討したい。
- ・「ニュース」というタイトルには確かにそぐわない情報のスピード感であると感じている。今後の課題として行きたい。

【草加局について】

<良かった点>

- ・外の様子が分かるので、天気を伝えているのは良い。
- ・道路の様子が映るので、道が混んでいるかなどが分かって良い。
- ・地元のクラブや団体の紹介は良い。
- ・ゲストを呼んでの生放送は非常に良い（※伝わる力が違う）。
- ・番組内で紹介していた簡単フィットネスは、視聴者も参加できるので、番組に対する親近感が強まると思う。

<改善点>

- ・特になし

【制作担当から】

- ・生放送の利点、LIVE 感を重視して今後もさらに精進したい。
- ・市民のゲストを呼ぶ、という事には特にこだわりをもって制作している。市民がたくさん出てこそそのケーブルテレビであると考えている。

【埼玉県央局について】

<良かった点>

- ・地域内のメジャーどころのニュースからニッチな話題、スポットまで様々な角度から地域的话题を取上げていて、他エリアのニュースについても参考になっている。
- ・12月末に企画・放送された各市町村担当者からの1分間PRは楽しかった。またやって欲しい。(※GWや夏休みのタイミング等で)
- ・「地域のいま」を現地からライブで放送するのは、素晴らしい取組だと思う。今後も地域密着の情報番組を提供して欲しい。

<改善点>

- ・特になし

【制作担当から】

- ・他エリアのニュースについて参考にしていただいているのはありがたい。
- ・12月のPR企画はたくさんの市民の皆さんが参加していただき、我々としても非常に印象的な回になっている。出演者の皆さんも喜んでいただいたので、是非また実施したい。

◆質問2:「コミュニティチャンネルの取り組み」のご意見・ご感想・課題・改善案など

<良かった点>

- ・2023年3月に締結したNHKとの連携協定は、地域住民にとって大変有益な連携であると思う。
- ・ここ数年の取組みは本当に素晴らしい。コンテンツとして民放と遜色ないと感じる。
- ・「埼玉の逆襲」はYouTubeでも観られるし、自虐が許される埼玉ならではの番組。グッズ販売まで展開していて、どんどんやって欲しい。
- ・地域イベントが戻りつつある状況で、J:COMならではの祭りや花火大会の生中継が少しずつ戻ってきた事を喜ばしく思う。引き続き、臨場感あふれる番組制作をお願いしたい。
- ・ニュース番組、バラエティ番組も「ど・ろーかる」をコンセプトに地域の方が興味、関心を持つ番組になっていると感じる。

- ・街中をスタジオに見立てた生放送は素敵だった。
- ・地元のローカルネタを伝えるのは J:COM ならではのと思う。
- ・埼玉県内の各市町村を巻き込んだ企画（クリテリウム連動企画など）は、「ど・ろーかる」のコンセプトに基づいたもので良かった。
- ・「ジェイコムだけ見られる」「ジェイコムでなければ見られない」のコンセプトで、地域に埋もれた、知られていない情報を取上げているのはとてもいいと思う。
- ・番組の幅、種類が格段に増えていると感じた。

<改善点>

- ・NHKとの連携協定締結に伴い、映像や原稿を相互提供出来るようになったことから、災害時に地域の情報が知りたい地域住民にとっては有益な情報を取得する事が可能となるため、災害時の不安解消のためにも広く PR した方がいい。
- ・多くの人が集まる祭りや高校野球中継時には、番組周知・アプリの PR をして頂き、多くの人に視聴してもらえよう尽力して欲しい。
- ・盛りだくさんなのは良いが、あまりにもバラエティ化過ぎるのは J:COM らしくない。地域情報に特化して欲しい。

<その他 感想・要望>

- ・L字放送は災害時に有効なため、詳細な情報を提供頂き、地元の情報は J:COM で取得するという選択肢の一つになって欲しい。
- ・埼玉 63 市町村 T シャツは、それぞれの観光協会等で買えたりすると、買えるお店が増えてさらに盛り上がりそう。
- ・イベントも復活しそうなので、どんどん取上げて欲しい。
- ・地域の社会問題への取組みもどんどん紹介して欲しい。
- ・お笑い芸人が騒ぎ立てる下品な番組は民放に任せれば良い。
- ・「埼玉の逆襲」の『埼玉化計画』や、大野知事を茶化するのを見ていて恥ずかしくなった。
- ・「ど・ろーかる」という言葉は無くなったのか？
- ・独自固有の番組であってほしい。
- ・埼玉県内でも人口減少が始まっている地域もあるため、若年者も含めて地域の魅力あるイベント、スポーツ、食、文化などまだ世間に知られていないものを含めて発信を続けて欲しい。
- ・NHK との防災・減災における連携協定については、近年頻発している激甚災害の際にも視聴者へ正しい情報を素早く提供できる仕組みだと思う。平時での取組みでは、予防対策など地域の安全、安心を守る社会から必要とされる重要な取り組みだと感じる。
- ・J:COM だから見られる番組というのは、J:COM の強みだと思う。
- ・番組の幅、種類が格段に増えていると感じた。
- ・今後、コロナ前の日常に徐々に戻ってくると思うので、祭りやイベントの公開生放送や、番組の公開収録など、制作側と視聴者の接点が増えるような企画を進めてもらいたい。

【制作担当から】

- ・NHK と映像を交換して、地元の新鮮な映像を活用できたことは非常にありがたいと思った。今後も色々なケースで映像・情報のやり取りを密にし、質の高い情報を入れて行きたい。
- ・「埼玉の逆襲」は埼玉のケーブルテレビだからこそできるバラエティ番組として今後もあらゆる事に挑戦して行く。視聴を上げるだけでなく、埼玉全体を盛り上げたい。
- ・ただしご意見をいただいたように「ただのバラエティ」にならないよう、しっかりと目的と仕掛けを持って制作に臨んで行きたい。
- ・皆様のご意見を元に「地元ならでは」「J:COMならでは」「ケーブルテレビならでは」そして「埼玉ならでは」の番組制作に邁進して行く。

以上